



neosソーラーブロック ラウンドルーフタープ 300-BG No.71202014

設営・取扱説明書

当設営・取扱説明書、製品に縫製されているケアラベル、付属のテントオーナーズマニュアル、パッケージ上に記載されている注意事項をよくお読みください。



部品構成表	生地×1 	屋根フレーム×2 (グラスファイバー) 直線型・短 	ラウンドフレーム×2 (グラスファイバー) 直線型・長 	ポール×4 (スチール) 直線型・短 	ペグ (スチール)
	ロープ 3M×4 ※装着済み	ハンマー×1 ※サービス品	※サービス品		



注意

- テント内では、絶対に火気を使用しない。(火災や一酸化炭素中毒による事故のおそれ)
- 大雨・強風時はテントを設営・撤収しない。(けがや破損のおそれ)
- 水辺には設営しない。(急な水かさの増量により、重大な事故のおそれ)
- ペグで地面に固定する。(テント・タープが風で飛ばされ、けがのおそれ)
- ランタンフックに、1kg以上の物を吊さない。(落下によるけがのおそれ)

上手な
使いかた

- 生地の摩耗により、コーティングがはがれる可能性があります。設営・撤収時に地面を引きずらないよう注意してください。また、仕様上内側から光が白い点状に見えることがありますが、問題なくご使用いただけます。
- 生地内側がコーティングされているため、水に濡らしたり、直射日光が当たったりしないようにしてください。
- ランタンハンドルの形状により、S字フックなどの取り付けが必要な場合もあります。
- お手入れ時、ベンジンやシンナーは使用しないでください。
- 付属のペグとハンマーはサービス品のため、別売品のご使用をおすすめします。

設営方法

- 設営は2人以上で行ってください。
- 風向き、日当たり、水はけなどを考慮して設営位置を決めてください。

1 すべてのフレーム／ポールを連結して組み立てる

●屋根フレームは、連結部の奥まで確実に差し込む。
(差し込みが不十分だと、フレームが破損するおそれ)

奥まで差し込む

●ポールは、連結部にすき間ができないようにする。
(すき間があると、接続部が破損するおそれ)

すき間がない

注意

すき間がある

2 生地を広げて、屋根フレームをスリーブに通す

！ スリーブに通す際、フレームは必ず押す。(フレームを引っ張ると連結部の接続が緩み、破損につながります)

スリーブを引っ張りながらフレームを押し込む

※スリーブの端を少し持ち上げると、フレームの連結部がはっきりと見えます。

屋根フレーム

生地

3 屋根フレームの先端をジョイントに差し込む

- ジョイントの内側に突起があるように差し込む。

奥まで確実に差し込む
(4か所)

ジョイント

突起

4 ラウンドフレームをスリーブに通して、先端を接続する

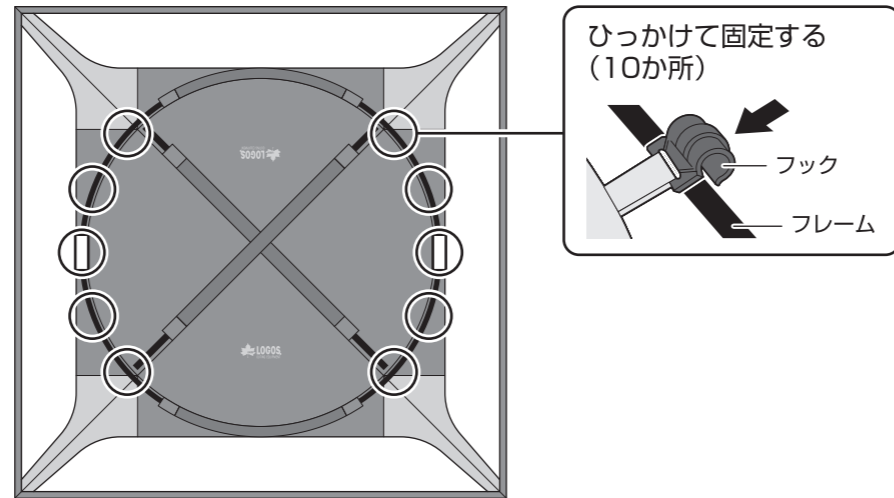
通す

接続する(2か所)

ラウンドフレーム

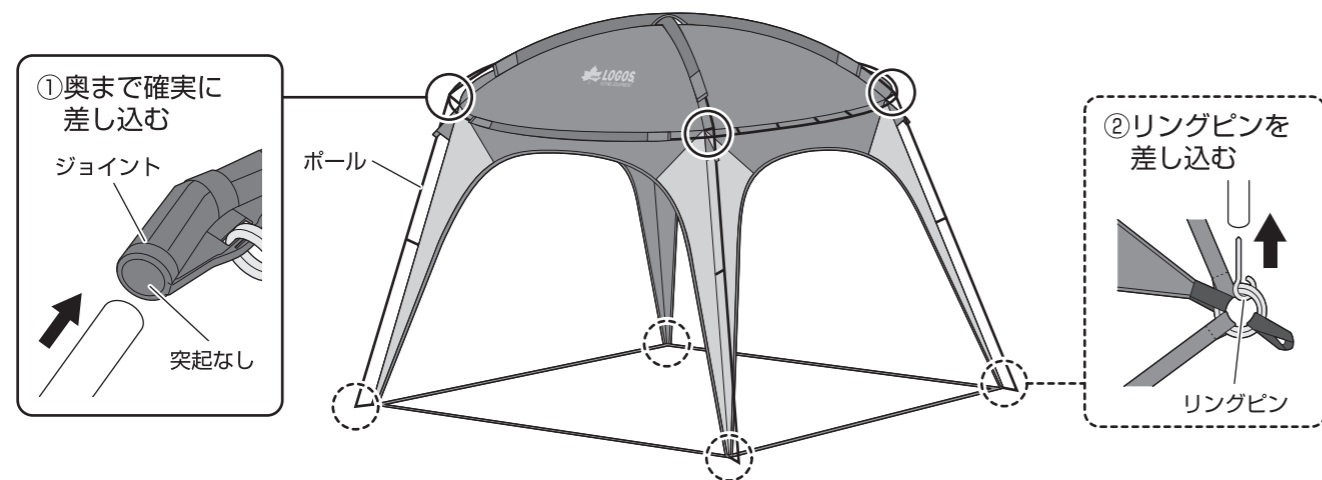
続きは裏面をご覧ください。

5 フックをフレームにひっかけて固定する

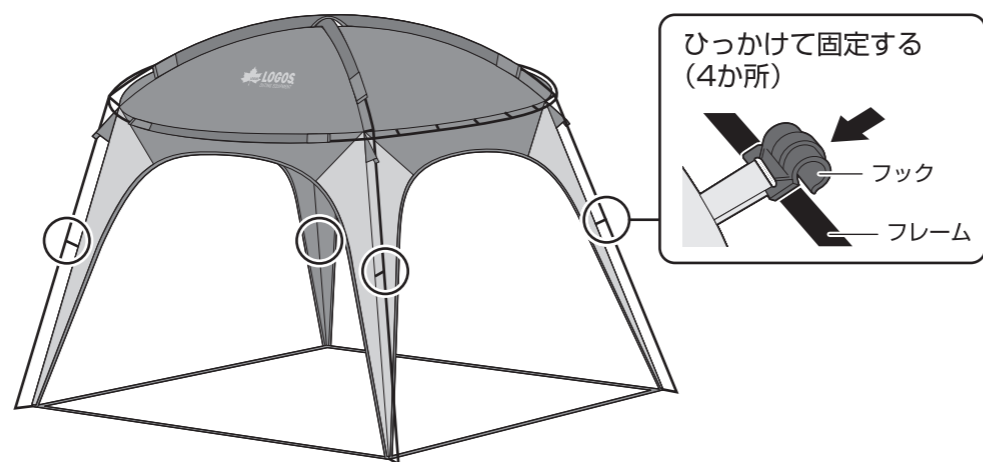


6 ポールをジョイントに差し込み、反対側の先端にリングピンを差し込んで固定する(4か所)

- ジョイントの内側に突起がないように差し込む。

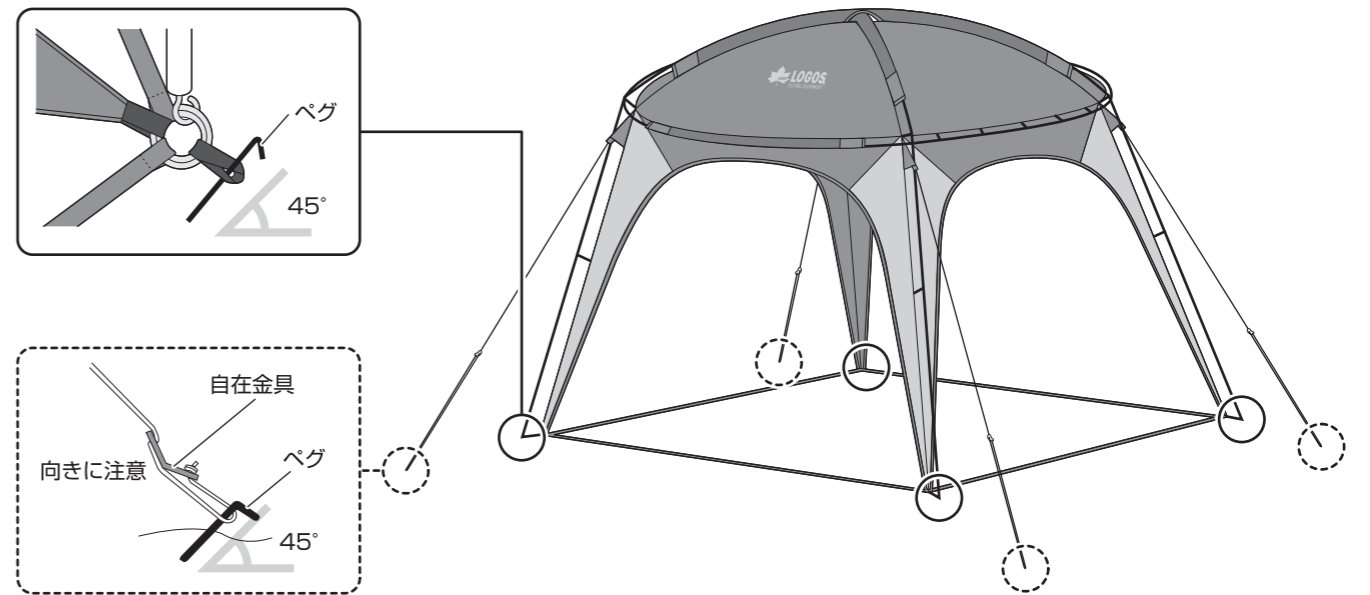


7 フックをポールにひっかけて固定する



8 ペグで地面に固定する

- ペグは8か所打ち込む。



■スタンディングベルトについて

- 設置完了後、スタンディングベルトはバックルを外して収納できます。



※撤収する際は、ペグを抜く前にすべてのスタンディングベルトのバックルを留め直してください。
(テントが正常に立たないため)

Designed by
LOGOS CORPORATION

販売元
株式会社 ロゴスコーポレーション

〒559-0025 大阪市住之江区平林南2-11-13
お客様専用回線 ☎0120-654-219 (受付時間: 平日10時~17時迄)

■ホームページ / www.logos.ne.jp
■全国キャンプ場の空き情報 / www.campjo.com

- 最新の情報は商品ページをご覧ください。
- 廃棄は、お住まいの地域のごみ分別方法にしたがってください。
- 製品の仕様は予告なく変更する場合があります。

商品ページ▶

